

令和2年度ひろしまの森づくり事業

1 ねらい

県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、「ひろしまの森づくり県民税」を財源に、県民共有の財産である森林を県民全体で守り育てる事業を推進する。

2 事業内容及び予算額

(単位：千円)

内 容			実施主体	予算額
補助金事業	人工林対策	・ 放置された人工林のうち、県民生活への影響が大きい森林の間伐、被害木処理、作業道整備 等	市町等	505,819
		・ 木造建築物における県産材の利用拡大	民間企業等	
	森林病虫害被害対策	・ 松くい虫等の森林病虫害被害に対する防除対策	市町	
交付金事業	里山林対策等	・ 里山林における防災・減災、景観保全、鳥獣害対策等を目的とした森林整備 ・ 森林・林業体験活動、木育活動 ・ 森林を活用しながら自ら森林整備を行う小規模林業経営者、森林保全活動団体、地域住民団体の育成 等	市町等	347,000
	特認事業	・ 住民団体等による自主的・継続的な森林保全活動 ・ 土砂災害の恐れがある区域の森林整備や歩道整備 等		120,000
県実施事業	県民理解の促進	・ 税の趣旨や事業内容に対する県民理解の促進、森づくり活動に関心を高めるための広報	県	23,505
合 計				996,324

※ 予算額合計は基金積立を除く実質事業費

3 成果目標

○ ワーク目標：手入れ不足の人工林の間伐面積（H23～累計）

（H30実績）7,930ha （R2目標）10,400ha

地域資源保全活用事業の実施箇所数（H24～累計）

（H30実績）36箇所 （R2目標）50箇所

森林ボランティア活動の延べ人数

（H30実績）75,911人/年 （R2目標）80,000人/年

県産製材品シェア（H30実績）16.2% （R2目標）20.0%

○ R2事業目標：手入れ不足の人工林の間伐面積 1,150ha/年

県産材製品利用量 25,000m³

4 取組状況

実施事例（H30～R1）					
補助金事業	◆手入れ不足の人工林の間伐（H30三次市）		補助金事業	◆住宅メーカー等が行う県産材利用の取組を支援（H30福山市）	
交付金事業	◆手入れが不十分な里山林の整備（放置竹林の整備）（H30東広島市）		交付金事業	◆森づくり活動への参加促進（安全技術講習会）（H30安芸高田市）	
交付金事業	◆森林・林業体験活動（小学生による自然観察会）（H30世羅町）		県実施事業	◆「TEAM森づくり」の活動成果のPRによる広報（R1全市町）	